



## 2019年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 株式会社 豊田自動織機  
コード番号 6201

上場取引所 東・名

URL <https://www.toyota-shokki.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大西 朗

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 松本 邦亮

(TEL) 0566-22-2511

定時株主総会開催予定日 2019年6月11日

配当支払開始予定日

2019年6月12日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	2,214,946	10.5	134,684	△8.7	202,225	△3.6	159,778	△8.1	152,748	△9.2	△16,789	—
2018年3月期	2,003,973	19.6	147,445	15.8	209,827	15.3	173,816	26.4	168,180	28.0	361,599	78.4

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	491.97	—	6.1	3.8	6.1
2018年3月期	541.67	—	7.0	4.3	7.4

(参考) 持分法による投資損益 2019年3月期 1,163百万円 2018年3月期 2,149百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,261,174	2,561,936	2,479,718	47.1	7,986.59
2018年3月期	5,258,500	2,633,869	2,553,391	48.6	8,223.82

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	270,306	△395,000	40,467	239,140
2018年3月期	268,567	△340,324	153,303	323,830

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00	46,573	27.7	1.9
2019年3月期	—	75.00	—	80.00	155.00	48,125	31.5	1.9
2020年3月期(予想)	—	80.00	—	80.00	160.00		31.6	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,150,000	8.8	72,000	17.3	107,000	8.7	82,000	10.2	円 銭
通期	2,300,000	3.8	145,000	7.7	208,000	2.9	157,000	2.8	505.66

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期	325,840,640株	2018年3月期	325,840,640株
----------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期	15,355,468株	2018年3月期	15,353,378株
----------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数

2019年3月期	310,486,032株	2018年3月期	310,488,219株
----------	--------------	----------	--------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本決算短信に記載されている将来に関する事項は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等の不確実性により、変更される可能性があります。
- ・為替レートにつきましては、1USドル110円、1ユーロ125円を前提としております。
- ・業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結財政状態計算書 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結持分変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期の経済情勢を概観しますと、世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など不透明感はあるものの、米国の底堅い個人消費などを背景に、緩やかな成長となりました。また、日本経済は、設備投資や個人消費など国内需要は堅調に推移しましたが、輸出が低迷するなど、停滞感が広がりました。このような情勢のなかで、当社グループは、品質第一に徹してお客様の信頼におこたえますとともに、各市場の動きに的確に対応して、販売の拡大に努めてまいりました。

その結果、当期の売上高につきましては、前期を2,110億円(11%)上回る2兆2,149億円となりました。

これをセグメントについてみますと、次のとおりであります。

自動車におきましては、市場は、欧州でやや縮小したものの、世界全体では前年並みとなりました。こうしたなかで、当セグメントの売上高は前期を157億円(3%)上回る6,107億円となりました。

このうち車両につきましては、2018年11月に新型RAV4の生産を開始したことにより、売上高は前期を103億円(14%)上回る824億円となりました。

エンジンにつきましては、2018年6月にAR型ガソリンエンジンの生産が終了しましたが、新型のA25A型およびM20A型ガソリンエンジンの立上がりやGD型ディーゼルエンジンの増加により、売上高は前期を97億円(10%)上回る1,084億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、中国を含む新興国では増加したものの、欧州や日本などで減少したことにより、売上高は前期を52億円(1%)下回る3,462億円となりました。

電子機器・鋳造品ほかにつきましては、鋳造品が減少したものの、電子機器が増加したことにより、売上高は前期を9億円(1%)上回る736億円となりました。

産業車両におきましては、市場は、欧州や中国が牽引し、世界全体で拡大しました。そのなかで当社は、各市場の状況に応じて、生産・販売活動を強化するとともに、新製品を投入してまいりました。こうした取り組みの結果、主力のフォークリフトトラックが各地域で増加したことに加え、物流ソリューション事業でも増収となったことにより、売上高は前期を1,836億円(14%)上回る1兆4,666億円となりました。

繊維機械におきましては、市場は、アジアの一部で停滞したものの、中国で堅調に推移しました。こうしたなか、織機の販売が中国で増加したことにより、売上高は前期を108億円(17%)上回る763億円となりました。

利益につきましては、営業面の努力、グループあがての原価改善活動の推進がありましたものの、原材料の値上がり、および前期の退職給付制度変更の影響などにより、営業利益は前期を128億円(9%)下回る1,346億円、税引前利益は前期を76億円(4%)下回る2,022億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期を154億円(9%)下回る1,527億円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

資産につきましては、投資有価証券の評価額が減少したものの、主に営業債権及びその他の債権が増加したことにより、前期末並みの5兆2,611億円となりました。負債につきましては、主に社債及び借入金が増加したことにより、前期末に比べ746億円増加し、2兆6,992億円となりました。資本につきましては、前期末に比べ719億円減少し、2兆5,619億円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前利益を2,022億円計上したことにより、2,703億円の資金の増加となりました。前期の2,685億円の増加に比べ、18億円の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、預金引出による収入が3,363億円あったものの、預金預入により4,479億円を支出したことや、有形固定資産の取得により2,256億円を支出したことで、3,950億円の資金が減少しました。前期の3,403億円の減少に比べ、547億円の支出の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が2,234億円あったものの、長期借入れによる収入が2,288億円あったことなどにより、404億円の資金の増加となりました。前期の1,533億円の増加に比べ、1,129億円の減少となりました。

これらの増減に加え、換算差額、期首残高を合わせますと、当期末における現金及び現金同等物の残高は2,391億円となり、前期末に比べ847億円(26%)の減少となりました。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、世界経済の緩やかな成長が見込まれますものの、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題および地政学的リスクなどにはこれまでと同様に注意を要すると思われ、また、国内での消費税率引上げの影響など不安要素もあり、企業を取り巻く環境は引き続き予断を許さない状況にあると思われます。次期の見通しにつきましては、連結売上高 2兆3,000億円、営業利益 1,450億円、税引前利益 2,080億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 1,570億円といたしました。セグメント別の売上高では、自動車セグメント 6,290億円、産業車両セグメント 1兆5,490億円などであります。

なお、為替レートにつきましては、1USドル110円、1ユーロ125円を前提としております。

また、当期の配当につきましては、昨年11月に中間配当金を1株につき75円とさせていただきましたが、期末配当金につきましては、1株につき80円とし、年間としては前期に比べ5円増加の1株につき155円とさせていただく予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、2017年3月期(第139期)の有価証券報告書における連結財務諸表から、国際会計基準(IFRS)を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	323,830	239,140
預入期間が3ヶ月超の定期預金	111,796	223,219
営業債権及びその他の債権	764,514	845,255
その他の金融資産	6,359	3,988
たな卸資産	223,714	245,182
未収法人所得税	9,359	13,713
その他の流動資産	54,219	53,282
流動資産合計	1,493,793	1,623,784
非流動資産		
有形固定資産	889,220	938,030
のれん及び無形資産	361,797	361,078
営業債権及びその他の債権	337	5,803
持分法で会計処理されている投資	10,352	10,253
その他の金融資産	2,441,545	2,258,788
退職給付に係る資産	29,232	28,603
繰延税金資産	27,017	30,590
その他の非流動資産	5,204	4,241
非流動資産合計	3,764,707	3,637,390
資産合計	5,258,500	5,261,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	479,253	506,547
社債及び借入金	400,803	342,232
その他の金融負債	71,683	67,030
未払法人所得税	27,097	15,993
引当金	7,754	8,807
その他の流動負債	19,284	16,754
流動負債合計	1,005,876	957,365
非流動負債		
社債及び借入金	767,297	955,183
その他の金融負債	70,912	57,813
退職給付に係る負債	86,655	101,347
引当金	8,460	7,525
繰延税金負債	665,342	598,083
その他の非流動負債	20,086	21,918
非流動負債合計	1,618,754	1,741,872
負債合計	2,624,631	2,699,237
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	105,343	103,507
利益剰余金	1,084,139	1,178,773
自己株式	△59,284	△59,297
その他の資本の構成要素	1,342,730	1,176,272
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,553,391	2,479,718
非支配持分	80,478	82,218
資本合計	2,633,869	2,561,936
負債及び資本合計	5,258,500	5,261,174

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	2,003,973	2,214,946
売上原価	△1,534,207	△1,702,599
売上総利益	469,765	512,346
販売費及び一般管理費	△334,347	△376,866
その他の収益	21,915	11,389
その他の費用	△9,887	△12,184
営業利益	147,445	134,684
金融収益	70,279	76,603
金融費用	△10,046	△10,226
持分法による投資損益	2,149	1,163
税引前利益	209,827	202,225
法人所得税費用	△36,010	△42,447
当期利益	173,816	159,778
当期利益の帰属		
親会社の所有者	168,180	152,748
非支配持分	5,635	7,029
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	541.67	491.97
希薄化後1株当たり当期利益(円)	—	—



## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期利益	173,816	159,778
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産に係る評価差額	184,278	△159,407
確定給付制度の再測定	3,629	△9,440
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△4	△6
純損益に振替えられることのない項目 合計	187,903	△168,854
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,564	△6,921
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,419	△621
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	24	△171
純損益に振替えられる可能性のある項目 合計	△120	△7,713
税引後その他の包括利益合計	187,782	△176,568
当期包括利益	361,599	△16,789
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	355,101	△23,702
非支配持分	6,497	6,912

## (3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					FVTOCIの金融 資産に係る 評価差額	確定給付制度 の再測定
2017年4月1日残高	80,462	105,417	954,503	△59,272	1,209,592	—
当期利益	—	—	168,180	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	183,956	3,525
当期包括利益	—	—	168,180	—	183,956	3,525
自己株式の取得	—	—	—	△12	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△41,915	—	—	—
子会社に対する 所有者持分の変動	—	△74	—	—	—	—
連結範囲の変更による 非支配持分の変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	3,371	—	153	△3,525
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△74	△38,544	△12	153	△3,525
2018年3月31日残高	80,462	105,343	1,084,139	△59,284	1,393,702	—
会計方針の変更の影響	—	—	3	—	—	—
2018年4月1日修正再表示後 残高	80,462	105,343	1,084,143	△59,284	1,393,702	—
当期利益	—	—	152,748	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△159,630	△9,693
当期包括利益	—	—	152,748	—	△159,630	△9,693
自己株式の取得	—	—	—	△12	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
剰余金の配当	—	—	△48,125	—	—	—
子会社に対する 所有者持分の変動	—	△1,835	—	—	—	—
連結範囲の変更による 非支配持分の変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	△9,992	—	298	9,693
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,835	△58,117	△12	298	9,693
2019年3月31日残高	80,462	103,507	1,178,773	△59,297	1,234,370	—

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計			
	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	新株予約権				
2017年4月1日残高	△50,417	6	—	1,159,181	2,240,293	76,174	2,316,467
当期利益	—	—	—	—	168,180	5,635	173,816
その他の包括利益	△1,980	1,419	—	186,920	186,920	861	187,782
当期包括利益	△1,980	1,419	—	186,920	355,101	6,497	361,599
自己株式の取得	—	—	—	—	△12	—	△12
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	△41,915	△2,390	△44,306
子会社に対する 所有者持分の変動	—	—	—	—	△74	—	△74
連結範囲の変更による 非支配持分の変動	—	—	—	—	—	166	166
利益剰余金への振替	—	—	—	△3,371	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	30	30
所有者との取引額合計	—	—	—	△3,371	△42,003	△2,193	△44,196
2018年3月31日残高	△52,397	1,426	—	1,342,730	2,553,391	80,478	2,633,869
会計方針の変更の影響	—	—	—	—	3	—	3
2018年4月1日修正再表示後 残高	△52,397	1,426	—	1,342,730	2,553,394	80,478	2,633,873
当期利益	—	—	—	—	152,748	7,029	159,778
その他の包括利益	△6,505	△621	—	△176,451	△176,451	△116	△176,568
当期包括利益	△6,505	△621	—	△176,451	△23,702	6,912	△16,789
自己株式の取得	—	—	—	—	△12	—	△12
自己株式の処分	—	—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	—	△48,125	△2,353	△50,478
子会社に対する 所有者持分の変動	—	—	—	—	△1,835	△2,969	△4,805
連結範囲の変更による 非支配持分の変動	—	—	—	—	—	100	100
利益剰余金への振替	—	—	—	9,992	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	49	49
所有者との取引額合計	—	—	—	9,992	△49,973	△5,172	△55,146
2019年3月31日残高	△58,903	804	—	1,176,272	2,479,718	82,218	2,561,936

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	209,827	202,225
減価償却費及び償却費	162,481	185,952
減損損失	2,849	2,815
受取利息及び受取配当金	△67,115	△72,301
支払利息	7,862	8,122
持分法による投資損益(△は益)	△2,149	△1,163
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23,875	△22,024
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△37,417	△86,533
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△452	42,548
その他	△22,145	2,698
小計	229,863	262,340
利息及び配当金の受取額	67,401	71,997
利息の支払額	△7,766	△8,461
法人所得税の支払額	△20,929	△55,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,567	270,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△200,115	△225,621
有形固定資産の売却による収入	12,474	14,288
投資有価証券の取得による支出	△18,022	△44,123
投資有価証券の売却による収入	136	757
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△172,511	△7,502
貸付による支出	△648	△2,053
貸付金の回収による収入	950	1,353
預金預入による支出	△241,296	△447,937
預金引出による収入	292,010	336,327
事業譲受による支出	△248	—
その他	△13,052	△20,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340,324	△395,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,159	△4,812
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	70	140
短期借入金(3ヶ月以内)の純増減額(△は減少)	△32,031	△9,442
短期借入れ(3ヶ月超)による収入	26,729	36,757
短期借入金(3ヶ月超)の返済による支出	△26,607	△29,634
長期借入れによる収入	108,882	228,884
長期借入金の返済による支出	△162,706	△223,417
社債の発行による収入	294,596	159,106
社債の償還による支出	△10,000	△75,949
自己株式の取得による支出	△12	△12
配当金の支払額	△41,915	△48,125
非支配持分への配当金の支払額	△2,390	△2,353
非支配持分からの払込みによる収入	422	—
その他	△572	9,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	153,303	40,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,400	△464
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	80,145	△84,690
現金及び現金同等物の期首残高	243,685	323,830
現金及び現金同等物の期末残高	323,830	239,140

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、当連結会計年度より I F R S 第15号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月公表)および「I F R S 第15号の明確化」(2016年4月公表)を適用しております。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他 (注) 2	合計 (注) 1	調整額 (注) 3	連結 (注) 4
売上高							
外部顧客への売上高	595,019	1,283,063	65,517	60,372	2,003,973	—	2,003,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,136	2,116	215	24,979	53,447	△53,447	—
計	621,156	1,285,179	65,732	85,351	2,057,420	△53,447	2,003,973
セグメント利益	29,618	104,993	6,182	6,666	147,461	△16	147,445
セグメント資産	562,334	1,704,883	48,087	242,841	2,558,147	2,700,353	5,258,500
金融収益							70,279
金融費用							△10,046
持分法による投資損益							2,149
税引前利益							209,827

(注) 1 各報告セグメントの区分に属する製品およびサービスの種類

自動車 …………… 車両、エンジン、カーエアコン用コンプレッサー、電子機器、鋳造品

産業車両 …………… フォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、高所作業車、

物流ソリューション、販売金融

繊維機械 …………… 織機、紡機、糸品質測定機器、綿花格付機器

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要なサービスは、陸上運送サービスであります。

3 調整額の内訳

セグメント利益の調整額△16百万円は、セグメント間取引消去であります。

セグメント資産の調整額には、全社資産が含まれております。

その主なものは、提出会社の現金および預金、有価証券および投資有価証券であります。

4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	自動車	産業車両	繊維機械	その他 (注) 2	合計 (注) 1	調整額 (注) 3	連結 (注) 4
売上高							
外部顧客への売上高	610,721	1,466,658	76,333	61,233	2,214,946	—	2,214,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,775	2,111	231	26,862	59,980	△59,980	—
計	641,496	1,468,770	76,564	88,095	2,274,926	△59,980	2,214,946
セグメント利益	6,827	114,630	7,319	5,918	134,696	△11	134,684
セグメント資産	579,077	1,857,752	51,635	244,675	2,733,141	2,528,033	5,261,174
金融収益							76,603
金融費用							△10,226
持分法による投資損益							1,163
税引前利益							202,225

(注) 1 各報告セグメントの区分に属する製品およびサービスの種類

自動車 …………… 車両、エンジン、カーエアコン用コンプレッサー、電子機器、鋳造品

産業車両 …………… フォークリフト、ウェアハウス用機器、自動倉庫、高所作業車、

物流ソリューション、販売金融

繊維機械 …………… 織機、紡機、糸品質測定機器、綿花格付機器

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要なサービスは、陸上運送サービスであります。

3 調整額の内訳

セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去であります。

セグメント資産の調整額には、全社資産が含まれております。

その主なものは、提出会社の現金および預金、有価証券および投資有価証券であります。

4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

## (1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

## ① 親会社の普通株主に帰属する当期利益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益	168,180	152,748

## ② 普通株式の加重平均発行済株式数

(単位：千株)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
普通株式の加重平均発行済株式数	310,488	310,486

## (2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

希薄化後1株当たり当期利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。